

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	みらいく田柄園
施設所在地	東京都練馬区田柄3丁目19-2
事業者名	株式会社第一コーポレーション

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近なかがくを体験してみよう。見つけてみよう。

<テーマの設定理由>

みらいくはハイスコーププログラムを取り入れていて、様々な素材や教材を準備して自分たちで選択し実行するアクティブラーニングを行っています。様々なエリア（コーナー）に分けて玩具をおいて自分たちで選んで遊ぶ中でブロックエリアでは大型積み木があり、日頃から色々なことに興味や関心があり、なぜ？どうして？と様々な事象に不思議なことを解明しようと工夫し、その積み木をピタゴラスイッチのように並べてみて、どうしたらボールを箱に入れられるか？繰り返しチャレンジできる4歳児に身近なものを使って新たな発見が生まれ、驚きと感動を見つけて探究してほしいため。

2. 活動スケジュール

7月、8月、10月、11月、1月、2月の6回

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

その時のテーマに合わせて大きな鏡やビニール袋、大きな風船や色セロファン、静電気が起きる魔法のハンカチなどを用意し、学研の先生とともに不思議体験をした後に室内に鏡ボックスを出しておく。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・鏡のふしぎの時：大きな鏡や凹凸にできる鏡を使ってものの写り方や鏡の不思議を体験。
- ・ロケット：ロケットをうまく飛ばすためには空気が必要。よく飛ぶロケットを作る。
- ・目の錯覚：同じ大きさや長さの違って見える目の錯覚の不思議体験。
- ・空気・摩擦：見えない、つかめない空気を大きな袋に閉じ込めて空気を利用したスライダーを作る。
- ・色・立体：赤いセロファンを使い、赤い光だけで見る世界はどのように見えるか？体験。
- ・静電気：静電気はこすると生まれることを知り、静電気でどんな実験ができるかを試す。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

身近なものを利用して様々な気づきにつながることや、日ごろ使っているものを2つ用意すると新たな気づきにつながることに気づいた。また、子どもたちも身近なもので簡単に出来る実験に興味や関心が大きく、終わった後も継続してやってみたいと挑戦したり、他のもので楽しむ姿もあり、全体を通してかがくに対する興味につながったと思った。個々に差はあれど、全員が興味や関心を持って参加できていた。